

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	阪井園子	学校名	神戸市立摩耶学校
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	6年1組,2組（59名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2018年 10月 ～ 12月（11時間）		

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：摩耶っ子SDGsにチャレンジ～未来がよりよくあるために～					
2. 教科・領域との関連性：  総合的な学習の時間 「摩耶っ子SDGsにチャレンジ」	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標（評価基準を意識して設定）： 【知識及び技能】・SDGsについて知り、自分達の課題とリンクさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・卒業に向けて、母校、地域、家庭に対する感謝や、中学校への希望や心構えを形や行動に表す。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身の回りから問題や課題を見つけ出し、友達と協力しながら、活動に取り組む。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	SDGsの17項目について知り、身近な問題と結び付け、行動を起こすことができる。			
	②思考力、判断力、表現力等	自分達の問題や課題を、SDGsに結び付け、チーム名やキャッチフレーズに表すことで、世界で起こっていることを、ジブンゴトとして考える。			
	③学びに向かう力、人間性等	仲間と協力して、卒業に向けた、感謝や改善への行動や、未来へつなぐ具体策を考えることができる。			

<p>6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)</p>	<p><b>【単元設定の理由と意義】</b></p> <p>日本で教育を受ける子供達にとって、世界で起こっているグローバルイシューを実感することは、多くない。6月に「世界一大きな授業」を行ったときにも、SDGsを知っている児童はほとんどいなかった。</p> <p>自分の気付き(身近な問題・課題)をSDGsと結び付けることで、世界と自分との繋がりを感ずることができる。卒業に向けて、これまで学んできた学校や、育ててもらった家庭や地域への感謝の念をもつと共に、後輩たちへの願い、さらに改善していきたいことなどを考える機会とする。また、中学校に向けての不安や期待を、仲間と共に分かち合い、新たな一歩を踏み出す力とする。卒業という人生の節目にあたり、小学校生活6年間をしっかりと締めくくり、自信をもって、新たな一歩を踏み出すことができるようにしたい。</p> <p>仲間と協力し合って活動に取り組む経験が、将来、世界の問題を解決する道に繋がることを願う。自分達の未来は自分達で作ることを伝え、子供達が、世界平和に少しでも貢献できる人になってほしいと願っている。</p> <p><b>【児童観】</b></p> <p>6月に行った「世界一大きな授業SDG4」では、学校に通えない子供達に対して、「学校に行けるように先生の数を増やしてほしい。」「教育にもっとお金をかけてほしい」「学校に行くのが嫌だと思ったことがあるが、ぜいたくなことだ。」「私達もしっかり勉強して、解決する人になりたい。」などの感想の中に、「かわいそう。」という発言も聞かれた。世界の問題に、驚きや怒りなどの気持ちを味わわせることはできたものの、遠い国でのこととして、ジブンゴトとして考えることは、まだまだ難しい。</p> <p><b>【指導観】</b></p> <p>10月の国語科で、「未来がよりよくあるために」をテーマに意見文を書く単元がある。それぞれの考えをイメージマップに表し、グループでブレインストーミングを行う。国語科では、この後、それぞれの気になることにテーマを絞り、根拠となる資料を集め、意見文を書く。この学習で行った、イメージマップやブレインストーミング、意見文を総合的な学習の時間「摩耶っ子SDGsにチャレンジ」に結び付けていく。</p> <p>また、道徳科においても、「地球の時間、ヒトの時間」という題材があり、46億年の地球の歴史と人の営みを考える。更に、11月半ばの音楽会で「たったひとつの青い星」を合唱する児童にとって、地球や世界の人々について考えを深める場面を多く設定している。</p> <p>大きな行事を終え、卒業に対する意識が強くなるこの時期に、様々な教科と横断的に学習することで、自分達の未来を見つめる良い機会になると思われる。SDGsという、世界の目標は、自分達の目標でもあることを、身近な問題、解決したいこと、気になること、頑張ってきたこと、頑張りたいことなど、自分への気付きに結び付けていくことで、ジブンゴト化したい。</p> <p>エンカウンター的な、あるいは演劇的な手法を用いることで、アクティブラーニングを大切に学習活動を工夫する。</p> <p>まず、自分達の課題がSDGs17項目の、どこに繋がるのかを考えることで、自分と世界はつながっていることに気付かせる。また、それを分かち合うことで、友達への共感や意見を引き出し、グルーピングする。</p> <p>グループでは、まず、SDGsを意識したチーム名やキャッチフレーズを作る。何を、誰に、いつ、どこで、なぜ、どのように、という5W1Hを意識しながら、どんなアクションを起こすか相談する。「課題→アイデア→プラン」のシナリオを作り、アクションプランとする。</p> <p>摩耶っ子サミットⅠを開催し、グループごとに、アクションプランを宣言し、全体で分かち合い、アドバイスし合う。</p> <p>グループで協力して準備を行い、実践する。その際に、対象者へのアポイントメントがあれば、お願いする。</p> <p>摩耶っ子サミットⅡを開催する。実践したことを振り返り、グループごとに、新たな気付き、成果、次へ繋がる課題などをシナリオにし、発表する。自分達の行動(アクション)</p>
--	--

	が、世界を幸せに導く第一歩となることを伝え、自分達への自信を引き出す。
--	-------------------------------------

7. 単元計画 (全 1 1 時間)

時	ねらい	学習活動	資料など
他教科で	国語や道徳の学習を通して、「よりよい未来」や「地球」について学習したことから、総合的な学習に繋げる。解決したいこと、気になること、頑張ってきたこと、頑張りたいことなどを「自分達の気付き」として出し合う。	国語科「未来がよりよくあるために」 ・ウェブマッピング 6年生も折り返し地点、後、卒業まで半年の今、これは解決しておきたいことはありませんか？または、後輩に伝えたいこと、中学校に向かての思い、不安でも期待でもいいよ。 ・道徳科「地球の時間、ヒトの時間」(6月の「世界一大きな授業」を話題に出し、SDGsを思い出せるようにする。)	ウェブマッピングワークシート
1、 本時	・「摩耶っ子 SDGs にチャレンジ」について考えよう SDGs の 17 項目について学習 「自分達の気付き」と SDGs を結び付ける	・SDGs って何だった？ 17 項目について学習 自分の課題と SDGs を結び付ける	マララ・ユスフザイ 「私たちが目指す世界」 SDGs 17 項目
2	SDGs を意識して、グループの名前やキャッチフレーズ(パワーワード)を決めよう。	・グループの名前やキャッチフレーズを決める グルーピングし、SDGs のどの項目についてチャレンジするのか、目的を明確にする。 例 SDG4「we love べんきょう！」「分からないって言うていいよ。」「分からないことは恥じゃない。」	ネーミング、キャッチフレーズワークシート
3 4	アクションプランを立てよう	・アクションプランを立てる。 5W1Hを意識しよう。 ・「宣言のシナリオ」を作る。	5W1H ワークシート シナリオ
5	摩耶っ子サミット I を開こう	アクションプランを宣言し、アドバイスし合う。	ループリック

変容につながる 16 のアプローチ—SDGs を活かした学校教員の取組—

参考資料

6	準備をしよう	グループごとに準備を進める。 事前に、アポイントをお願いする必要があるかな？	グループに対応した資料や材料を用意する。
7、 8	アクションを起こそう	グループごとに実践する。(同時にはできないかもしれない。)	
9、 10	摩耶っ子サミットⅡを開こう	成果と課題を振り返り、「報告のシナリオ」を作り、発表し合う。	シナリオ
11	未来につなげよう	SDGs に対する振り返りをし、次の一步に繋げる。	振り返りと写真を掲示物に仕上げる。

8. 本時の展開

本時のねらい：SDGs について知り、「摩耶っ子 SDGs にチャレンジ」について考える。

過程・ 時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
-----------	-------------------	-----------------	---------

参考資料

<p><b>導入</b> (5分)</p>	<p>1、「よりよい未来」についての「自分達の気付き」とSDGsを結び付けよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「摩耶っ子SDGsにチャレンジ」について考えよう。</p> </div>	<p>・「世界一大きな授業」、国語や道徳などこれまで学んできたことを話題に出す。</p>	<p>SDGs 拡大コピー (プロジェクター)</p>
<p><b>展開</b> (20分)</p>	<p>2、SDGs 17 項目について知ろう。 マララさんが、「アイデアを考え」「自分にもできることアクション(行動)」を探そうと言っていましたね。それが、「摩耶っ子SDGsにチャレンジ」。</p> <p>3、「自分達の気付き」を、SDGs 17 に結び付け、「摩耶っ子SDGsにチャレンジ」できることを考えよう。 (一斉→グループワーク) 一斉(まず例を挙げて考える) 台風…SDG13(3,11)→地球温暖化→CO2 削減 →電気をこまめに消すなど</p> <p>グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミのポイ捨てをなくそう。</li> <li>・気持ちの良い「あいさつ」を広めよう。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>・資料や動画を見て、SDGs 17 項目について知らせる。</p> <p>・SDGs の動画に合わせて、17 項目 1 つずつのプリントを掲示する。</p> <p>・まず、今年話題になった台風を例に挙げ、みんなで考えることで、活動のイメージがわくようにする。</p> <p>・ウェブマッピングシートを元に「自分達の気付き」をSDGsに繋がられるようにする。</p> <p>・気付き(問題とアイデアを色分け)を付箋に書いて項目毎に貼る。</p>	<p>動画「マララ・ユスフザイ」 動画「SDGs 17」 SDGs17 項目(掲示用・グループワーク用)</p> <p>ウェブマッピングワークシート</p>
<p><b>まとめ</b> (5分)</p>	<p>4、グループで考えた「摩耶っ子SDGsにチャレンジ」を分かち合う。</p>	<p>・発表したグループの項目を掲示する。</p>	

9. 評価基準に基づく本時の評価(評価方法)

【知識及び技能】・SDGs について知り、自分達の課題とリンクさせる。

(SDGs17項目グループワーク用、ウェブマッピングワークシート)

【思考力、判断力、表現力等】

- ・卒業に向けて、母校、地域、家庭に対する感謝や、中学校への希望や心構えを形や行動に表す。  
(摩耶っ子サミットでの発言、アクションプラン、アクション、振り返りシート)

【学びに向かう力、人間性等】

- ・身の回りから問題や課題を見つけ出し、友達と協力しながら、活動に取り組む。  
(アクションプラン、アクション、ワークシート)

10. 学習方法および外部との連携

- ・個々が見つけた問題を元に、方向性が同じ約5名毎にグルーピングする。各クラス6グループ×2クラスで12グループ出来るが、同じテーマになっても良しとする。教師は担任2名と2～3名の協力者を求めたい。
- ・計画段階と報告段階の2回、演劇的手法を取り入れる。シナリオを作り摩耶っ子サミットで発表することで、イメージがよりクリアに具体的になると思われる。また、作成過程において、全員参加が求められ、共同的な学習を行うことができる。
- ・養護教諭、ペア学年の担任、委員会の担当教諭、その他の先生方に子供達が直接アポイントメントを取り、アドバイスをいただいた。

11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

- ・夏季校内研修で、国際教育について「SDGs」をテーマに研修を行う。その際、指導案を提示し、先生方に共に考えて貰う。
- ・授業前に指導案を配り、6年生が行っていることを知ってもらう。
- ・子供達が相談に行くと思われる先生方には、事前をお願いしておく。

【自己評価】

<p>12. 苦労した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グルーピングは、子供達と相談しながら行った。予定とは異なり、1組では、2名のチームが6チームもでき、1クラスで10チームができてしまった。しかし、興味関心に基づいてグルーピングしたためモチベーションは高く、2名でも協力し合って、活動をすすめることができていた。</li> <li>・「準備」と「アクション」を明確に分けることができないチームがあった。子供達の気持ちとしては、準備ができたらずぐにアクションを起こしたい。チームによる差に対応しなければならなかった。また、全てのチームが歩調を合わせてアクションを行う訳ではないので、結局担任が全て調整することとなった。他の先生方に担当して貰いにくかった。</li> </ul>
<p>13. 改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs を身近な問題に引き寄せた後、実際に活動（アクション）が始まるとSDGs から離れてくるような感じがした。「活動あって学び無し」にならないよう、常にSDGs を意識させることが必要だと思われる。</li> <li>・ちょうど理科で、パソコンを使う学習をした後だったためか、パソコンを使ってポスターや新聞、プレゼンテーション資料を作る児童が多かった。ICTの活用は、今の時代必要なことでもあるが、個人的には、もっとアナログで手作り感あふれるものも大切だと考える。</li> <li>・教師間の連携をもっと円滑に行いたい。</li> <li>・今回は期限もあり、2学期に行ったため、卒業を意識する点では弱かった。もしできれば、卒業前にパートⅡにチャレンジしてもよいかもしれない。</li> </ul>
<p>14. 成果が出た点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科（国語、道徳、音楽）との横断的な学習を行ったことで、テーマやめあてを持続し、様々な視点から取り組むことができた。</li> <li>・大人（教師や保護者）でも知らない人がいる「SDGs」に、非常に意欲的に取り組む姿が見られた。総合的な学習として、6年生が行うにふさわしい取組であると思う。</li> <li>・自らすすんで担当の先生とアポイントメントを取り、日程を相談したり、掲示物を貼る場所を下見したりするなど、自主的な姿がたくさん見られた。また、放送委員会に頼んで放送で伝える、栄養委員会の残食調べを参考にする等、各委員会とのコラボレーションも見られた。子供達がどんどん繋がっていくことを感じた。</li> </ul>
<p>15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）</p>	<p>&lt;1学期の世界一大きな授業の感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs を行っている人たちは2030年までにこの大きな17個の目標をめざして、すごいと思いました。私達も大人になったら、少しでもこうけんできるようにしたいです。</li> </ul> <p>（学校に行けない子供達をかわいそうだとは思いますが、遠い国のことで、今の自分達にはまだ何もできないと思っているようだった。「大人になったら」と先の事を考えている児童が多かった。）</p> <p>&lt;道徳の感想より&gt;（SDGs との結び付きが感じられている。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、地球が何十億年もかけて作ったものを人が壊していると知って、とても</li> </ul>

	<p>ショックでした。SDGs はとても大切だと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、国語の「未来がよりよくあるために」で、持続可能な社会、SDGs について調べました。今日の授業でこわいなと思ったことは、オゾン層が破かいされていることです。私も 2030 年に向けて、SDGs のことを考えたいです。</li> </ul> <p>&lt;ふりかえりより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は「ポスターを作って掲示する」ぐらいしか計画していなかったけど、作っているうちに、「あれやればよくなるんじゃない？」などの意見を出し合って、パンフレットや感謝状、募金をしたいなどと、とてもいい感じでできています。</li> <li>・1 年の先生にアポを取ったら「ぜひお願いします。」と言われてうれしかったです。期待に応えられるよう、しっかりと教えたいです。</li> </ul> <p>&lt;子供達の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作文や卒業文集に SDGs について書く児童がいた。</li> <li>・休み時間にすすんで取り組む児童の姿が多々見られた。</li> <li>・自主性や協力性が高まった。</li> </ul>
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションの様子や成果物を写真に撮っておき、掲示物として残すことで、保護者に見て貰う。</li> <li>・SDGs 17 項目は、カラフルでデザイン性があり、子供達は興味を持っていた。また、世界の目標に取り組むということは、子供達にやりがいと誇りを与えると考える。今回、このような場を与えてくださったことに、感謝の念でいっぱいである。</li> <li>・教師でも SDGs や ESD を知らない人がまだまだたくさんいる。これからも、この活動を広げていきたいと思う。</li> </ul>



変容につながる 16 のアプローチ—SDGs を活かした学校教員の取組—

参考資料

6-1 のチームと取組例

SDGs	チーム名	キャッチフレーズ	アクションプラン	アクション
2	食べ物サイコ ー	食で生かされる命	残食 0	校内の残食調べ 世界の取組 (プレゼンテーション) 調理師さんへの手紙
3	笑顔をふやそ う	健康と幸せをみんなに!	インフルエンザ・風邪予防	風邪予防 ポスター 放送
4	Teachers	一からていねいに	1 年生の勉強を手助け	ペアのクラスに朝学の時間に行って、個別支援。 テストを作るなど
6	S a v e t h e w a t e r	節約、節約!	ウォーターエイド にぼ金	ポスター 募金袋を作って配布 (3 学期)
7	省エネ G o!	こつこつ 節約!	電気のつけっぱなし注意	ドアに貼って貰えるようなキャラクターを作り、各クラスに配布
10	いじめなくし 隊	ピースフルスクール	低学年に絵本の読み聞かせ	「わたしのいもうと」を朝学時間に読み聞かせに行く。
11	クリーンレン ジャー	ゴミ 0 作戦	楽しいゴミ箱作成	アンケート型ゴミ箱 (1 週間毎に内容を変える) バスケット型ゴミ箱 (ゴミ箱の上にネットを取り付ける)
12	チャレンジ 3 R	3 R を意識しよう	キャラクターを使ったポスター	低中高学年に応じて 3 R のポスターを作り、階段に掲示
13	CO2 減量隊	身近な緑を大切に!	CO2 を減らすためのマンガ絵本、ぬり絵などを作成	低学年 ぬり絵 中学年 マンガ絵本 高学年 プレゼンテーション
15	ネイチャーガ ード	自然を守ろう!	低中高学年に応じて新聞作り	低中高学年に応じて、 自然や緑を守るための新聞を作り、各クラスに配布